



胃の痛みや不快感、我慢していませんか？

消化性潰瘍（胃・十二指腸潰瘍）の正しい知識と最新の治療

- ・胃や十二指腸の粘膜が深く傷ついた状態です。
- ・主な症状は、みぞおちの痛み、胸やけ、吐き気などです。
- ・原因はピロリ菌感染や痛み止めの服用がほとんどです。
- ・早期発見・早期治療が重要で、薬で治ることが多いです。

日本消化器病学会「消化性潰瘍診療ガイドライン2026（改訂第4版）」準拠

「潰瘍（かいよう）」とは、 胃の壁が深くえぐられた状態です

昔は「ストレス」が
一番の原因と言われて
いましたが、
今は違います！



- ✓ ・胃液（強い酸）から胃を守る「バリア」が壊れることで起こります。
- ✓ ・放置すると、出血したり、胃に穴が開くこともあります。

胃を荒らす「2つの本当の犯人」を知っていますか？



ピロリ菌

**胃の中に棲みつき、長
長年にわたって胃のバリ
アを壊し続ける悪い菌。**



痛み止め・血液をサラサラにする薬

**腰痛や心臓の治療に欠
かせないお薬も、胃の
バリアを弱めてしまう
副作用があります。**

 要注意！ お薬による潰瘍は「無症状」で進行します

ピロリ菌による潰瘍	【症状】 みぞおちの痛みや 胃もたれを「感じやすい」 
お薬による潰瘍	【症状】 痛みが抑えられるため、 悪化するまで 「気づつきにくい」! (※危険) 

**「痛くないから大丈夫」は禁物です。
お薬を長く飲んでいる方は、特に注意が必要です。**



**【緊急事態】このサインが
出たら、すぐに専門医療機関へ！**



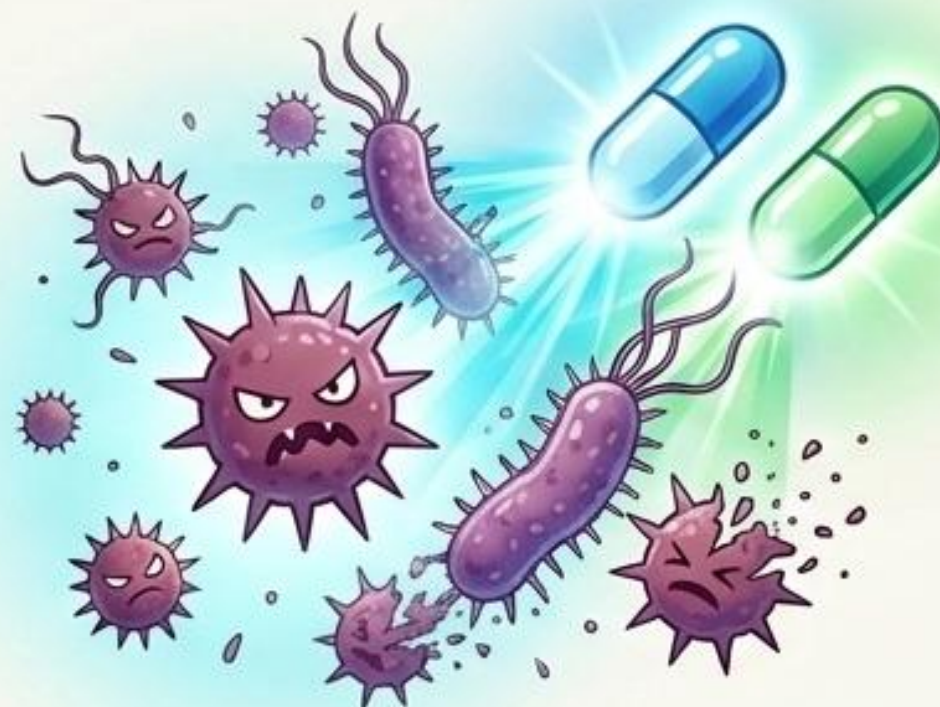
**吐血（血を吐く・コーヒーの
カスのようなものを吐く）**



**黒色便（タールや墨汁のよ
うに真っ黒なウンチが出る）**

胃の中で大出血が起きているサインです。迷わずすぐに医師や看護師に伝えてください！

解決策①：ピロリ菌がいるなら「除菌」で徹底退治



治療法

二種類の抗菌薬と、胃酸を強力に抑える薬（タケキャブなど）を1週間飲み続けます。

患者さんへのお願い

菌を完全にやっつけるため、
「途中で薬を飲み忘れず、最後まで飲み切ること」が一番大切です。

除菌に成功すれば、
潰瘍の再発を大きく防ぐことができます！

解決策②：お薬が原因なら「胃のバリア薬」を一緒に



絶対ダメ！

胃が痛いからといって、自分の判断で「痛み止め」や「血液をサラサラにする薬」を勝手にやめないでください。命に関わる病気が悪化する恐れがあります。

正しい対処法

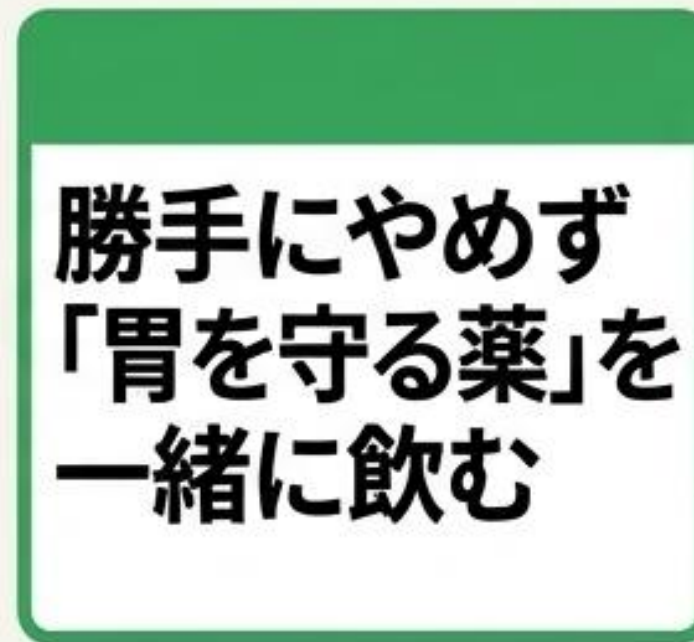
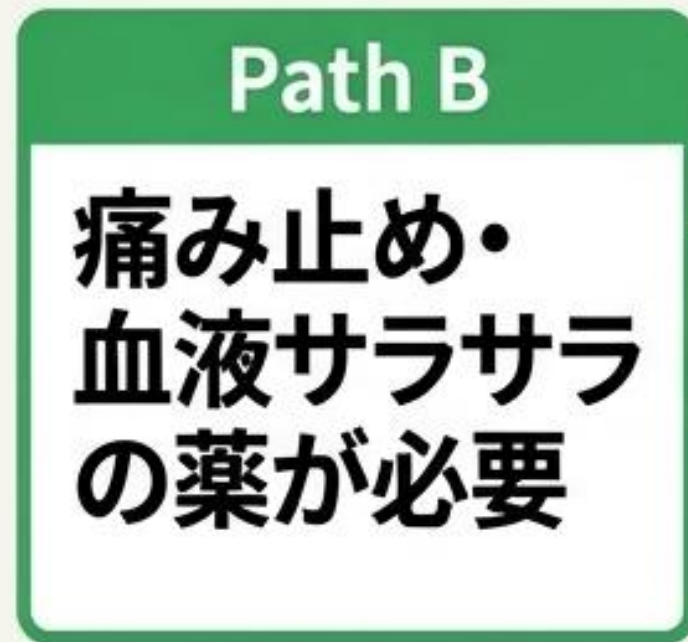
主治医に相談し、胃を強力に守る薬（PPI・タケキャブなど）と一緒に処方してもらいましょう。

最新のガイドラインでも、胃を守る薬の「併用」が強く推奨されています。

あなたの胃を守るための「2つの道筋」



治癒・再発
ストップへ



治癒・再発
ストップへ



笑顔で
安心な毎日!

治ってからも油断禁物。「定期的な胃カメラ」を！



なぜ必要？

ピロリ菌の除菌が成功したり、潰瘍が治った後でも、胃の粘膜にはダメージの痕が残っていることがあります。

未来を守る行動

潰瘍の再発や、胃がんなどの別の病気を早期発見するため、年に1回など、主治医と相談して定期的に内視鏡検査（胃カメラ）を受けましょう。

「痛くない時」の検査が、あなたの未来を救います。

丈夫な胃で過ごすための「3つのお約束」



【その1】胃潰瘍の2大原因（ピロリ菌・お薬）を知る！



【その2】危険なサイン（黒いウンチ・吐血）を見逃さない！



【その3】自己判断で薬をやめず、必ず医師に相談する！

**気になる症状があれば、いつでも
お気軽にスタッフへお声がけください。**